

(別紙)

令和7年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

2番議員 吉田 敏郎

将来都市像の実現に向けた町長の本気度を問う

町長が就任してから3年目になる令和7年度がスタートした。第六次開成町総合計画の初年度であり、町制施行70周年の節目の年でもある。

第六次開成町総合計画は、2025年から2032年までの8年間で目標達成に向けた計画であり、今までの12年間での計画期間を4年短くしたことは、町長の意気込みが感じられるところである。

3月定例会議の令和7年度当初予算提案趣旨説明において、将来都市像の実現に向けた7つの基本目標ごとに予定事業の概要を説明され、質疑の中でもしっかり答弁され、実現に向けた町長の気持ちを感じることができた。

まだ、3か月経過したばかりではあるが、将来都市像の実現に向けた7つの基本目標のうち「未来を担う子どもを育むまち」「人のつながりでつくる安全・安心なまち」「利便性が高く、快適な都市空間が整ったまち」を重点項目にあげたことを含め、実現に向けた町長の本気度を伺う。

- (1) 重点項目にあげた「未来を担う子どもを育むまち」について、今現在新たな強い考えは。
- (2) 「人のつながりでつくる安全・安心なまち」について、今現在新たな強い考えは。
- (3) 「利便性が高く、快適な都市空間が整ったまち」について、今現在新たな強い考えは。